

四月一日に、  
掾久米朝臣広繩の館に宴する

歌四首

四〇六六番

卯うの花はなの 咲さく月つき立たちぬ ほととぎす 来き鳴なきと  
よめよ 含ふみたりとも

四〇六七番

二上ふたがみの 山やまに隠こもれる ほととぎす 今いまも鳴なかぬか  
君きみに聞きかせむ